



分科会

資 料

三遠南信発!

イノベーション創出を目指した 産学官・地域間連携による取組

～東三河の事例を中心に～

豊橋市産業部長 瀧川 雅弘

三遠南信地域の産業集積等の現状

- ✓東京、名古屋、大阪の中間に位置
- ✓温暖な気候
- ✓高度なインフラ
高速道路
鉄道、港湾、空港
工業・農業用水
- ✓良質な労働力

多様で競争力の高いものづくり産業の集積

スズキ、ホンダ、ヤマハ、
ヤマハ発動機、
浜松ホトニクス、ローランド、
武蔵精密工業、本多電子、
樹研工業、多摩川精機、
夏目工学・・・

課題: 変化に対応できる産業基盤づくり
新産業創出と産業集積の形成

全国有数の農業地帯

農業産出額 田原市:1位
浜松市:4位
豊橋市:6位

食品・農業関連産業の集積

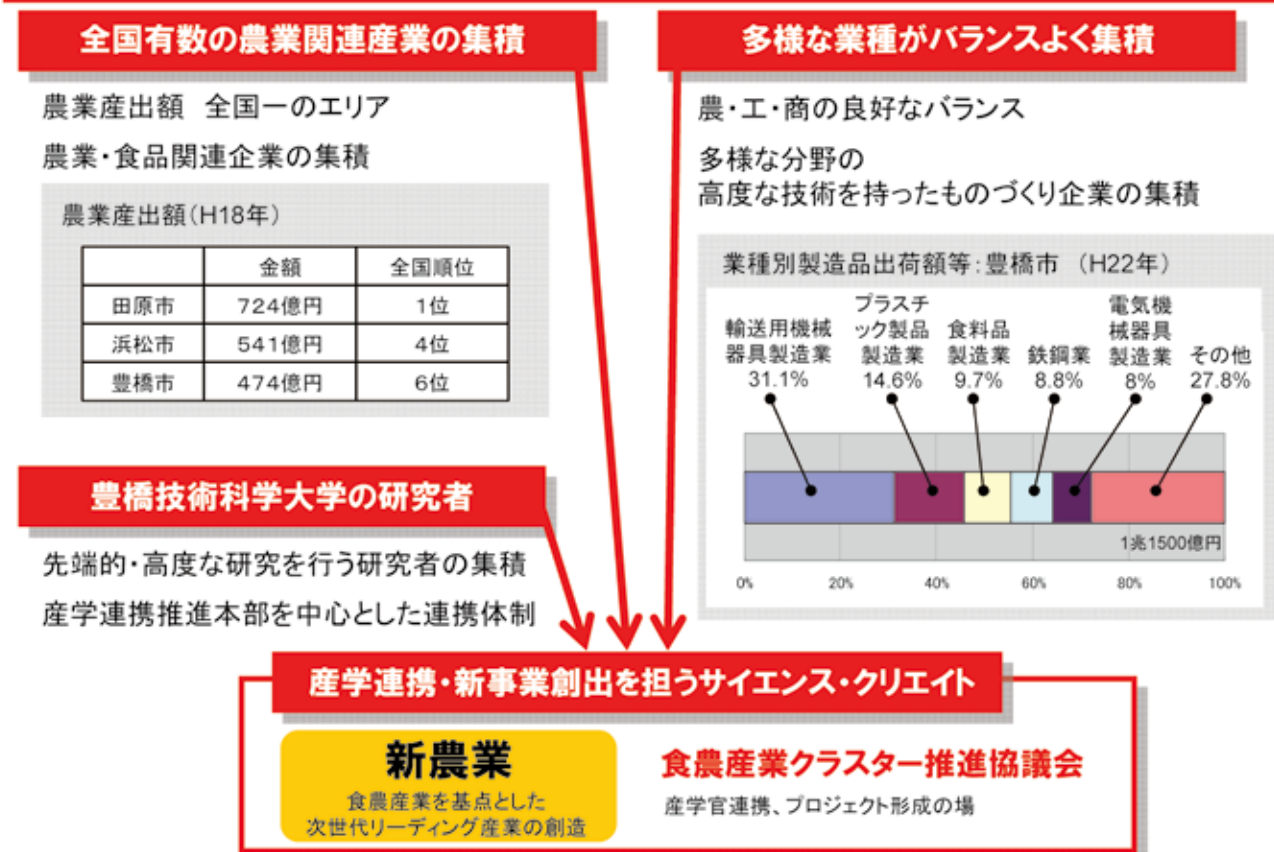
課題: 農業の後継者育成・確保
耕作放棄地の解消 等

人口 約200万人
製造品出荷額 約10兆円
農業産出額 約2700億円

三遠南信地域における産学官・地域間連携事業



東三河地域における「新農業」取り組みの背景



株式会社サイエンス・クリエイトの概要



豊橋サイエンスコアは
新産業への開拓をめざす
東三河地域の
産業技術支援拠点です

会社概要

- 【所在地】
愛知県豊橋市西幸町字浜池333-9
- 【出資構成】
愛知県、豊橋市、日本政策投資銀行及び民間企業113社
- 【会社沿革】
昭和63年 サイエンス・クリエイト21推進協議会発足
平成2年 会社設立
平成4年 豊橋サイエンスコアしゅん工
- 【特徴】
・東三河唯一の産業支援機関
・産学連携による新産業創出を目指すサイエンス・クリエイト21計画の実施主体

事業概要

- 【施設管理事業】
豊橋サイエンスコアの管理
・ホール、会議室等の貸しスペース
・起業家育成のための貸しオフィス
- 【インキュベーション事業】
・創業支援
・起業家育成
・起業家交流
・販路開拓
・イベント開催
- 【産学連携事業】
・技術相談
・研究助成
・産学連携交流
・イベント開催

食農産業クラスター推進計画

異業種・地域間連携から生み出される農業生産の効率化、農作物の高付加価値化等、農業・食品産業を基点とした新たな価値の創出を目指す

新農業 クラスター の形成

農業者等

食農産業クラスター推進協議会

- 事務局 (株)サイエンス・クリエイト
- 会 員 農業分野をはじめとする異業種で構成
会員数 約110団体
賛助会員 約20団体(大学、行政機関等)
- 役 割 異業種の出会いの場
リサーチ機能
連携のコーディネート
地域ブランドの育成

食品加工業者

流通・販売業者

農業関連企業

大学・研究機関

新技術・新商品開発
プロジェクト推進

農業生産技術・製品の開発

農畜産物の付加価値
向上、新商品開発
(青じそ、うずら、キャ
ベツ、トマト等)

販路開拓

セミナー、フェアの
開催

交流、マッチング

食農産業クラスターの取り組み紹介

食農産業クラスター 2007年度～2010年度の歩み

「4年間で24事業を立ち上げ、事業全体で1億円を投じ14億円の売上を実現！」

食農産業クラスター推進協議会に対してこの4年間で、自治体からの委託および補助金の合計額1億円、24事業のうち「専任加工研究会」では平成20年に農林水産省・経済産業省の農産加工等推進事業認定、平成21年には地域を活性化させる農産加工等推進プロジェクトとして全国的にも注目され、「うね内部技術活用」は平成20～21年度の農林水産省・研究開発高度化促進事業に選定。また、海外輸出事業は経済産業省から地域中小企業海外展開支援事業として補助交付金を受け海外展開とのネットワークを確立。これらをめぐる事業全体売上高は14億円となった。

新商品開発

専任加工研究会
新・人型食品の製造プロジェクト
ソフトシェッドの活用事業
専任加工研究会
おからの水でーナー事業

専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会

海外事業

専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会

専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会

農産加工技術開発・普及

専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会

専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会

人材育成

専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会

専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会

食農産業クラスター 2011年度からの進化へのチャレンジ

「地域資源の潜在能力を引き出し、新しい価値創造が持続可能な地域産業を確立！」

商品競争力を強化するブランド化と新販路・新顧客の開拓

専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会

海外機関とのネットワーク強化と販路・マーケットの開拓

専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会

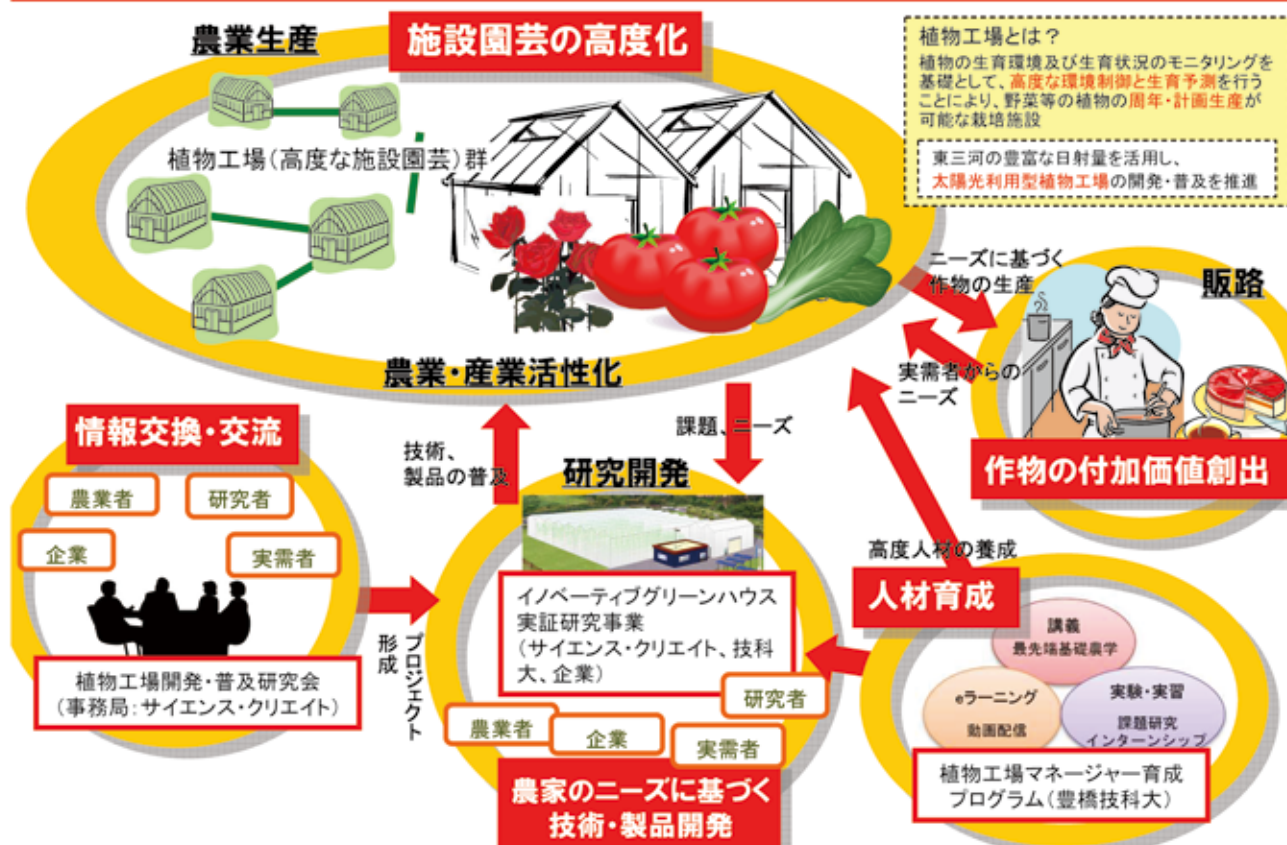
施設栽培・バイオマス利活用技術応用の実証施設建設

専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会

専門的な技術・能力・組織等の情報提供と人材育成支援

専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会
専任加工研究会

植物工場の開発・普及拠点の形成



植物工場実証研究事業について

事例紹介: イノベティブグリーンハウス(IGH)プロジェクト



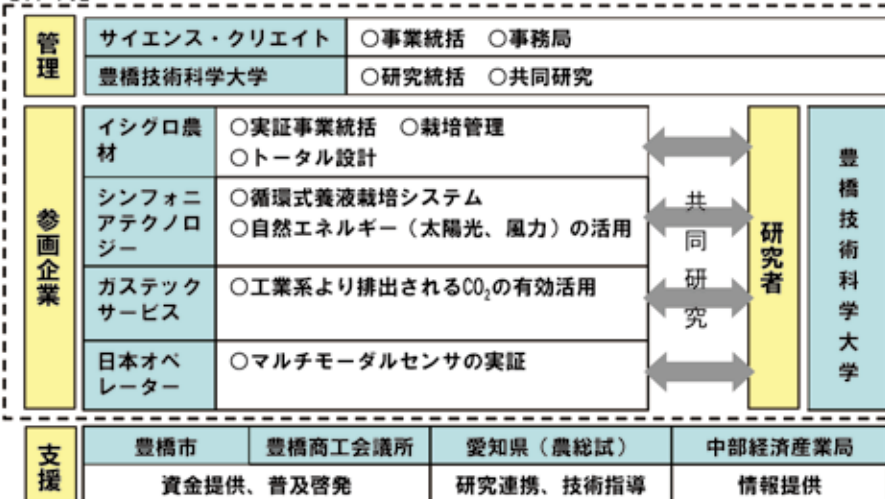
【目的】

1. 大玉トマト国産品種での日本初、50t/10aの達成
2. 5年間の実証栽培データを分析し、栽培マニュアル作り
3. 産学官連携による研究を実施
4. 事業の成果を普及し、地域産業活性化を目指す

【概要】

テーマ	自然エネルギー活用型次世代高収量生産植物工場のための新技術の実証設備整備
施設建設場所	豊橋市西幸町 豊橋リサーチパーク4-2街区
施設規模	栽培棟1,280m ² 機械・空調室256m ² 管理棟45m ²
栽培スケジュール	H24年7月下旬(定植) " 9月下旬~(収穫)
補助事業名	経済産業省 イノベーション拠点立地支援事業 豊橋市 植物工場普及促進事業

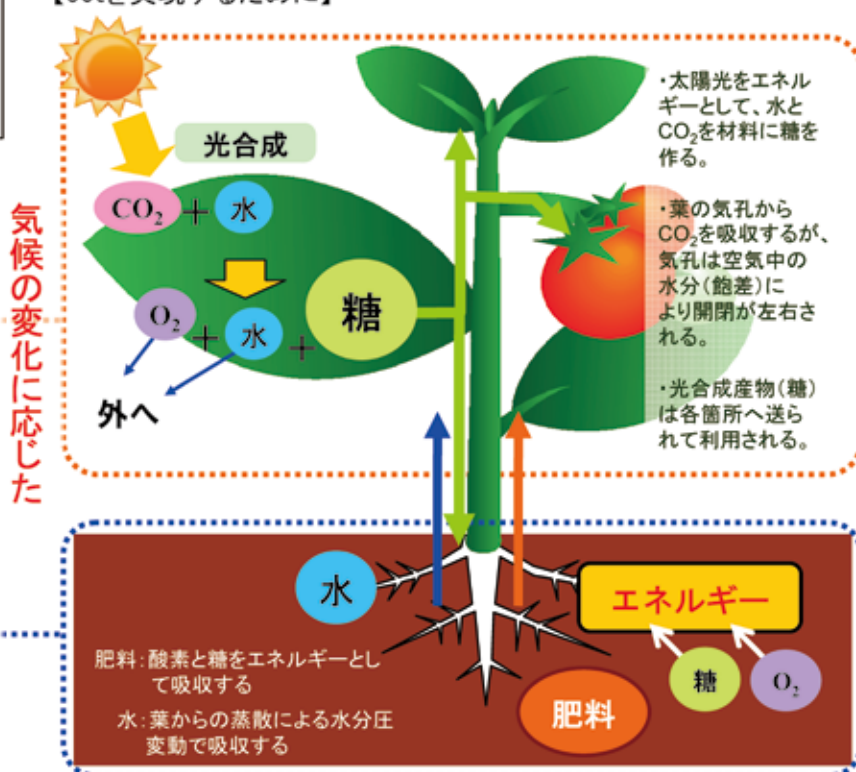
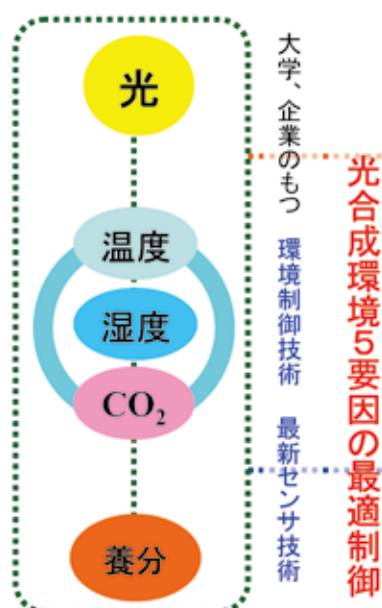
【体制】



植物工場実証研究事業について

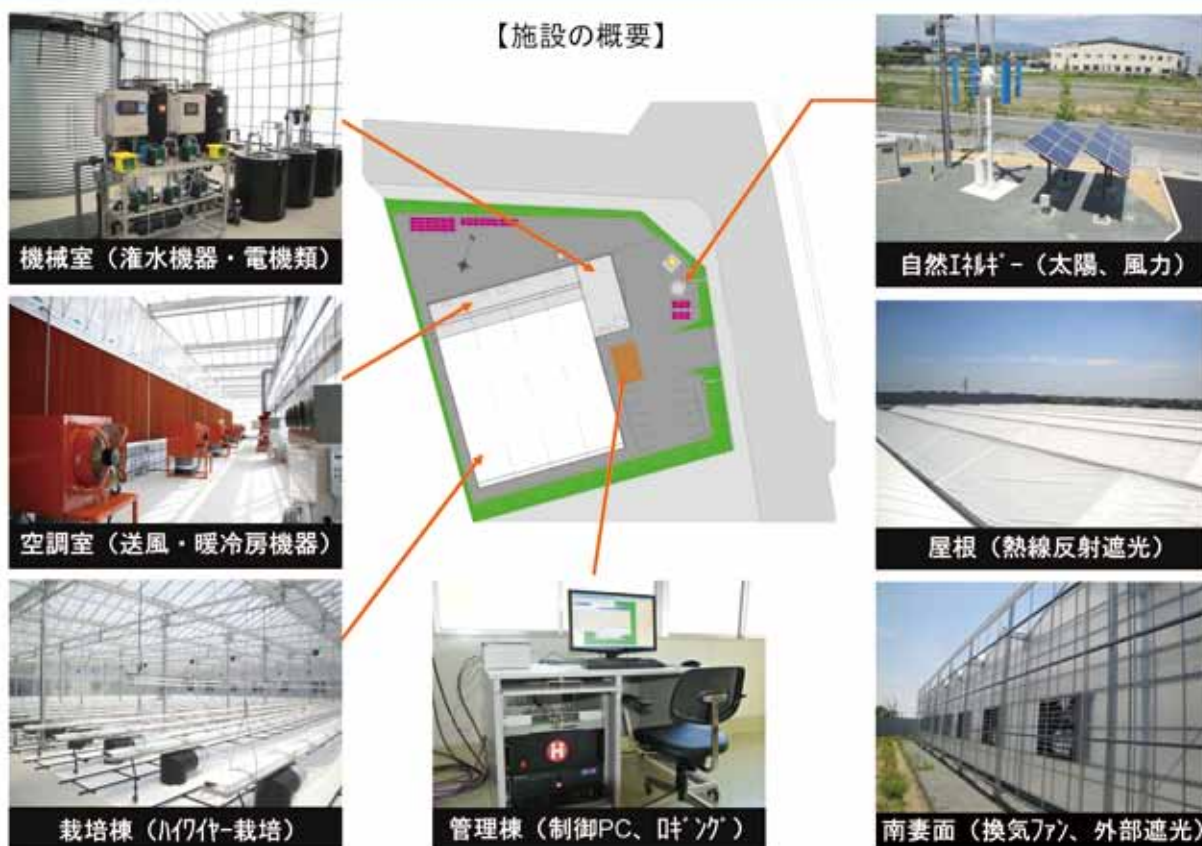
事例紹介: イノベティブグリーンハウス(IGH)プロジェクト

【50tを実現するために】



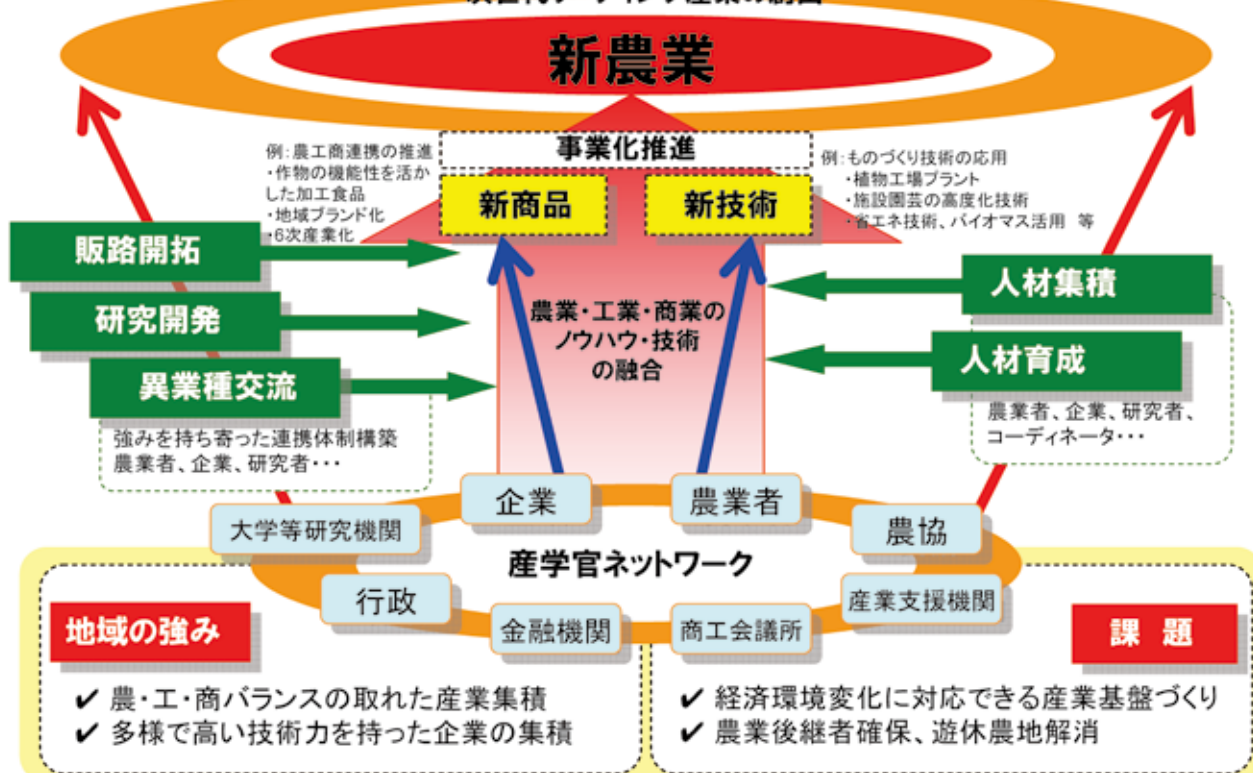
植物工場実証研究事業について

事例紹介: イノベティブグリーンハウス(IGH)プロジェクト



新農業クラスターの形成を目指して

食と農を基点とした異業種・産学官・地域間連携による
次世代リーディング産業の創出



三遠南信地域社会雇用創造事業の 取り組みについて

平成24年10月2日

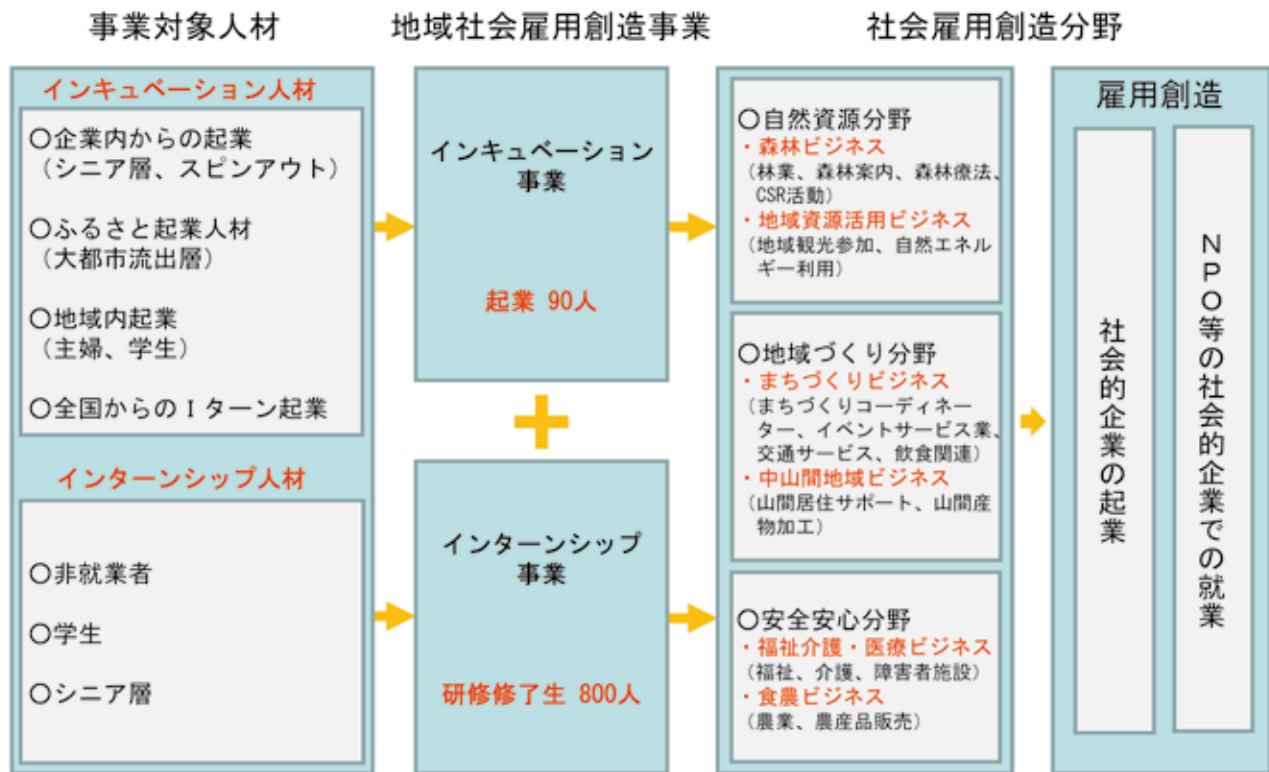


三遠南信地域社会雇用創造事業

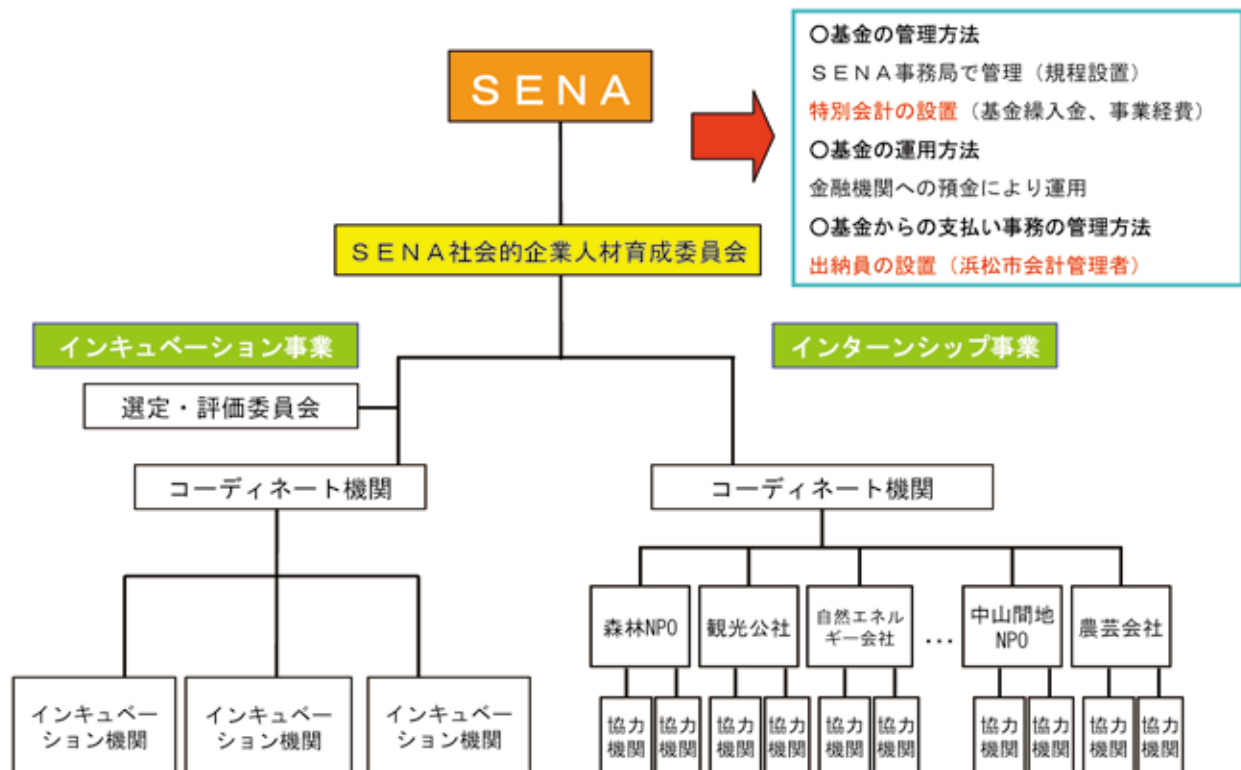
内閣府の「地域社会雇用創造事業」に応募し、採択（53事業者の応募のうち、採択は全国12事業者）

1 事業費	7億円（平成22年3月24日交付決定）
2 事業期間	平成22年3月24日から平成24年3月31日まで
3 事業目的	次の3分野において、社会起業インキュベーション事業及び社会的企業人材創出・インターンシップ事業を行うことにより、雇用創造のネットワーク・システムを構築し、社会的企業による継続的な雇用創造を図る。 (1) 自然資源を活用した雇用創造分野 （森林ビジネス、地域資源活用ビジネス） (2) 地域づくりによる雇用創造分野 （まちづくりビジネス、中山間地域ビジネス） (3) 安心安全を確保するための雇用創造分野 （食農ビジネス、福祉介護・医療ビジネス）
4 事業内容	(1) 社会起業インキュベーション事業 (2) 社会的企業※人材創出・インターンシップ事業 ※ 社会的企業とは 少子化、環境被害、地域の衰退などの社会的課題について、事業性を確保しながら自主的かつ積極的に取り組むNPO法人等をいう。

事業対象人材と雇用創造分野



推進体制及び基金の運用・管理方法



社会的企業人材創出・インターンシップ事業

1 事業概要

(1) 事業内容	NPO法人等と連携し、非就業者、学生、シニア層などを対象としたインターンシップ（職場体験）研修を実施し、社会的企業への就業を支援する。
(2) 目標	研修修了生 800人
(3) 研修日数	30日間（2年間で6期開催。各期の研修は概ね3ヶ月程度の期間内で実施。研修生受入機関での分野別研修26日間、SENAが実施する集合研修4日間）
(4) 研修生受入機関に対する交付金	研修修了生1名につき135,000円を交付
(5) 研修の受講料	無料
(6) 活動支援金	年収見込額が基準を下回るなどの条件を満たし、研修を修了した方に150,000円を支給

2 事業実績（研修修了生数）

地域	第1期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	合計
遠州地域	27	69	158	146	140	146	686
東三河地域	64	55	27	65	43	57	311
南信州地域	2	29	13	13	10	6	73
合計	93	153	198	224	193	209	<u>1,070</u>

4

集合研修の様子



集合研修は4日間で、研修生の意識啓発等を目的として、講義、ワークショップ、交流会、報告会等を行った。集合研修は3地域（東三河地域、遠州地域、南信州地域）ごとに開催し、集合研修Ⅰの1日目、集合研修Ⅲは一般公開とした。

5

インターンシップ研修の様子



「農業をちう見しよう」

農業経営の実際を生産者の下で経験することで、将来、ビジネスとして農業を考えるきっかけを作る。
研修を通して、これから就職される方や転職を希望される方に対して農業をビジネスとして捉えるための経験や情報を伝える。

「自然エネルギーを利用する2又は3輪EV車及び船舶等の開発技術者の育成」

太陽光・風力発電、バイオエネルギー発電、急速充電設備、EV車やソーラービークルの構造を学び、基本的な電気知識や各種バッテリー、充電装置の安全な取り扱いを研修。



社会起業インキュベーション事業

1 事業概要

(1) 事業内容	新たな雇用を創出するため、三遠南信地域において社会的企業の創業・事業化を目指す方を支援するもの。 「社会起業プラン・コンペティション」により優秀な事業計画を選定し、その策定者に対して起業支援を実施する。
(2) 目標	90名の起業
(3) プラン・コンペティション	2年間で4期開催。書類審査（1次審査）及びプレゼンテーション審査（2次審査）により選定。1次審査通過者にはブラッシュアップ指導を行う。
(4) 起業支援	起業研修講座の開催、起業アドバイザーの紹介
(5) 起業支援金	起業した方に提供（上限220万円）

2 事業実績

地区別	第1期		第2期		第3期		第4期		合計	
	起業支援対象者	起業家	起業支援対象者	起業家	起業支援対象者	起業家	起業支援対象者	起業家	起業支援対象者	起業家
遠州地域	5	5	6	6	8	8	11	11	30	30
東三河地域	10	9	9	7	14	14	9	9	42	39
南信州地域	1	1	3	2	3	2	5	4	12	9
合計	16	15	18	15	25	24	25	24	84	78

プレゼンテーション審査



1次審査（書面審査）及び2次審査（プレゼンテーション審査）により、優秀な事業計画を選定した。選定された事業計画の策定者（以下「起業支援対象者」という。）は、インキュベーション機関から起業の支援を受けることができる。

起業に結びついた事例

中山間地域の生活を体験してもらうため、農業（茶つみ、園芸・果樹栽培等）や林業（椎茸栽培、炭焼き等）等豊富な体験メニューを実施する農家民宿を開業する。

森林の資産価値の低下と山間地の過疎化に伴う不在山主の増加、地域住民の高齢化という課題解決を目指し、GPS・GISを活用した森林データの収集、間伐事業、地域木材活用の企画・運営するNPO法人を設立。

発達障害児の療育や発達障害児を持つ家庭の育児相談を行う児童デイサービスを開業。地元小学校、幼保育園、保健センター等と連携し、発達障害児の早期発見・早期療育に努める。

8

起業研修講座



基礎から実務まで、起業の際に必要な知識の習得を目的とした起業研修講座を開催した。

基礎編…社会的企業の概要、起業の心構え、基礎知識等について
実務編…ビジネスの手法、パートナーシップ手法、経理、マーケティング分析、資金調達等について

9

社会起業インキュベーション事業 フォローアップ事業

社会起業インキュベーション事業にかかるフォローアップ事業

1 事業期間	平成24年9月から平成25年3月まで
2 事業趣旨	・三遠南信地域社会起業インキュベーション事業によって、78名が社会的企業を起業した。 ・起業者が安定した経営を続けていくためには、経営相談等のフォローアップが欠かせない。 ・支援のため、SENA及び三遠南信地域経済開発協議会の共同事業として実施する。
3 事業目的	1. 社会起業インキュベーション事業の効果の継続的な把握・検証 2. 起業者の事業の広報 3. 起業を目指す方々への実践的ノウハウの提示
4 事業内容	1. 起業者への現況調査、調査報告書作成 2. 起業者の事業内容を紹介する冊子原稿の作成

10

三遠南信地域連携ビジョン推進のために

三遠南信地域連携ビジョンにおける「人材育成」の位置づけ

「技」重点プロジェクト、重点プロジェクト工程表
「国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進」に位置づけ

・三遠南信地域では、各地域の特徴を活かした産業の集積がされている。これを更に発展・拡大させるために必要な人材をどうやって育成するかが課題。

平成24年度 官民連携主体による地域づくり推進事業

大学等高等教育機関と経済界・行政の連携による推進体制の整備
（仮称）三遠南信大学シンポジウム・人財育成円卓会議の開催【23～27年度】
・次世代社会基盤創造分野に関わる人財育成・定着化を促すため、産学官金の地域経営者等から構成される会議を開催し、地域高等教育戦略（地域学士力）を推進するための検討
※平成23年度は大学シンポジウムとして開催

社会起業インキュベーション事業 フォローアップ事業と官民連携主体による地域づくり推進事業

大学、行政、企業、市民団体の連携あるいは県境連携という点から人材育成のための環境整備に取り組む。

11

重点プロジェクト

政策の基本方針 2：持続発展的な産業集積の形成

① 三遠南信ビジネスマッチングの推進

三遠南信地域の地域経済の活力を高めていくために、県境を越えて企業間の交流を深め、新規ビジネスの創出を支援します。

【活動イメージ】

- ・ 三遠南信地域を対象としたビジネスマッチング機会を積極的に創出します。
- ・ 信用金庫等の地域金融機関が連携して、企業・人材情報を蓄積し、企業交流を促進します。
また、地域金融機関のサミットを開催します。
- ・ 各地域で開催される産業展示会等では、三遠南信地域内の企業が積極的に参加できるようなPR活動を進めます。
- ・ 県境を越えてビジネスプラン等を持つ企業の発表機会をより多く設けていきます。

【推進主体とその活動】

- ・ 浜松市、豊橋市、飯田市の各商工会議所が中心となり、三遠南信地域経済開発協議会や地域金融機関等の協力・支援を得ながら推進します。

② 国内外に向けた人材・企業誘致の活動促進

「三遠南信」が知名度を高め、国内外へ向けた地域プロモーションを進めるため、三遠南信地域が一体化した人材・企業投資等の誘導戦略をつくり、人材・企業誘致活動を推進します。

【活動イメージ】

- ・ 国内外の将来性豊かな企業を対象とした誘致活動を推進します。
- ・ 海外、国内他地域への情報発信力を強化するため、特徴ある産業集積、クラスター事業や、工業団地、企業立地優遇措置等について、複数言語によるポータルサイトの整備や、相談窓口の充実化を図ります。
- ・ 企業誘致パンフレットの共同制作の検討等、企業誘致活動における連携活動を充実します。

【推進主体とその活動】

- ・ 自治体、商工会議所、商工会等が中心となって、活動を促進します。

③ 特徴ある産業クラスター拠点づくり県境を越えた事業連携

世界的な「ものづくり」地域として継続的な発展を続けるには、新規産業の育成が不可欠となっています。そのために特徴ある産業クラスターを形成するための拠点づくりと、県境を越えた事業連携を促進します。

【活動イメージ】

- ・ 特徴ある産業クラスターとして、オプトロニクス（光電子工学）クラスター、航空宇宙産業クラスター、食農産業クラスター、農工連携、医工連携等の広域拠点づくりを進めます。
- ・ 自動車、鉄道などの輸送用機器や工作機械、ロボット等の産業を重点に、三遠南信全域を対象とした産業クラスターづくりを推進します。
- ・ 各産業クラスターの強化を図るため、三遠南信地域や他地域からの企業参加等を積極的に誘導するためのポータルサイトの整備や、窓口・仲介機能を充実します。

【推進主体とその活動】

- ・ 三遠南信バイタライゼーション協議会が中心となり、はままつ産業創造センター、(株)サイエンス・クリエイト、(財)飯伊地域地場産業振興センター等と連携しながら推進します。

④ 三遠南信地域大学フォーラムの設置

三遠南信地域における人材の育成・定着、技術開発力の強化、文化や芸術の振興などに向けて、地域の総合的な学術研究機能や高等教育機能を高めるために、三遠南信地域の大学・研究機関等の連携を促進する三遠南信地域大学フォーラムを設置します。

【活動イメージ】

- ・ 大学間の意思疎通を高め、地域との連携を促進するために、三遠南信地域内の大学学長による意見交換の場を設けます。
- ・ 単位互換等を促進することで、三遠南信地域の大学が連携した総合大学としての魅力を創出します。また、地域集積が高い農林業分野等について、新規大学の誘致を検討します。
- ・ 大学の総合力を高めるために、各専門の枠を越えた研究者間の交流機会の創設、共同研究を促進します。
- ・ 人材の地域定着を促進するために、県境を越えるインターンシップ事業を促進します。
- ・ 地域との交流として、地域学の創設やコミュニティカレッジとしての役割を検討します。
- ・ 三遠南信地域の戦略的な分野に関して、国際学会誘致など全国の大学や国外の大学との連携を支援します。

【推進主体とその活動】

- ・ 大学、自治体等が中心となって、運営組織を立ち上げ、活動を推進します。